

103-118

問題文

サイトカインに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. IFN- γ (インターフェロン- γ)は、マクロファージを活性化して、その貪食能を増強させる。
2. エリスロポエチンは、主に脾臓で生成・分泌される。
3. IL-2(インターロイキン-2)は、キラーT細胞の増殖及び分化を抑制する。
4. IL-4(インターロイキン-4)は、Th0細胞(0型ヘルパーT細胞)からTh1細胞(1型ヘルパーT細胞)への分化を促進する。
5. TGF- β (トランスフォーミング増殖因子- β)は、免疫抑制作用を示す。

解答

1, 5

解説

サイトカインとは、免疫系細胞から分泌されるタンパク質の総称です。

選択肢 1 は、正しい記述です。

選択肢 2 ですが

エリスロポエチンは、腎臓で産生される糖タンパク質です。脾臓ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 ですが

インターロイキンとは、白血球により分泌されるサイトカインの一種です。その中でインターロイキン 2 は、T細胞、B細胞、NK細胞などを「活性化」させる作用を持ちます。また、インターロイキン 4 は、Th「2」細胞への分化に大きく寄与するとされています。よって、選択肢 3,4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

以上より、正解は 1,5 です。

類題